

平成18年社会生活基本調査 「生活行動に関する結果」 — 岩手県の概要 —

平成19年7月19日
岩手県総合政策室

調査の概要

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和51年以来5年ごとに総務省が実施しています。

平成18年に行われた調査は、平成18年10月20日を調査日として、平成12年国勢調査の調査区から選定された120調査区内の約3,800人(全国では約6,400調査区、約180,000人)を調査の対象としました。

この資料は、総務省が平成19年7月9日に公表した自由時間等における主な活動に関する調査結果から、岩手県に關係する部分を概要としてまとめたものです。

なお、国民の生活時間の配分に関する調査結果は、本年9月中旬に公表される予定です。

◎ 調査結果の概略

1 インターネットの利用(P2)

○「インターネット」の行動者数(注1)は56万1千人、行動者率(注2)は45.9%。男性の行動者率は49.8%、女性の行動者率は42.4%。男性の15～24歳、女性の15～34歳は80%を超える行動者率。

○全国の行動者率は59.4%(男性62.5%、女性56.5%)。本県は第44位(47都道府県の行動率の上からの順位。以下同じ)(前回の平成13年は第46位)。

2 学習・研修(P4)

○「学習・研修」の行動者数は33万4千人、行動者率は27.3%。男性の行動者率は26.1%、女性の行動者率は28.3%。「パソコンなどの情報処理」は行動者率が低下。

○全国の行動者率は35.2%(男性34.4%、女性36.0%)。本県は第42位(平成13年第46位)。

3 スポーツ(P6)

○「スポーツ」の行動者数は71万2千人、行動者率は58.2%。男性の行動者率は64.0%、女性の行動者率は53.0%。行動者率は全体的に低下傾向。

○全国の行動者率は65.3%(男性70.4%、女性60.5%)。本県は第42位(平成13年第46位)。

4 趣味・娯楽(P9)

○「趣味・娯楽」の行動者数は98万6千人、行動者率は80.6%。男性の行動者率は80.3%、女性の行動者率は80.9%。「スポーツ観覧」、「テレビゲーム、パソコンゲーム」などは行動者率が上昇。

○全国の行動者率は84.9%(男性85.2%、女性84.6%)。本県は第38位(平成13年第46位)。

5 ボランティア活動(P12)

○「ボランティア活動」の行動者数は39万9千人、行動者率は32.7%。男性の行動者率は33.3%、女性の行動者率は32.1%。男女共に「まちづくりのための活動」が最も高い行動者率。

○全国の行動者率は26.2%(男性25.1%、女性27.2%)。本県は第8位(平成13年第19位)。

6 旅行・行楽(P14)

○「旅行・行楽」の行動者数は84万8千人、行動者率は69.3%。男性の行動者率は66.3%、女性の行動者率は72.0%。「行楽(日帰り)」は「年に10回以上」が最も多い。

○全国の行動者率は76.2%(男性74.7%、女性77.7%)。本県は第41位(平成13年第45位)。

注1) 行動者数：過去1年間に該当する種類の活動を行った人(10歳以上)の数

注2) 行動者率：行動者数の10歳以上人口に占める割合(%)

1 インターネットの利用

- (1) 男性の49.8%、女性の42.4%がインターネットを利用
男性の15～24歳、女性の15～34歳は80%を超える行動者率

過去1年間（平成17年10月20日～18年10月19日。以下同じ。）にインターネットを利用した人（10歳以上。以下同じ。）は56万1千人で、10歳以上人口に占める割合（行動者率。以下同じ。）は45.9%となっている。

男女別にみると、男性が29万人、女性が27万1千人となっており、行動者率は男性が49.8%、女性が42.4%で、男性が女性より7.4ポイント高くなっている。これを年齢階級別にみると、男性は15～24歳が82.1%、女性は25～34歳が84.6%と最も高く、これより年齢が高くなるにつれて行動者率は低下している。

行動者率は、仕事や学業での利用も含めた平成13年（33.6%）と比べても、12.3ポイント上昇しており、この5年間でインターネットの利用が広く県民生活に浸透したことを示している。（図1-1、図1-2）

図1-1
年齢階級別「インターネットの利用」
の行動者率（平成13年、18年）

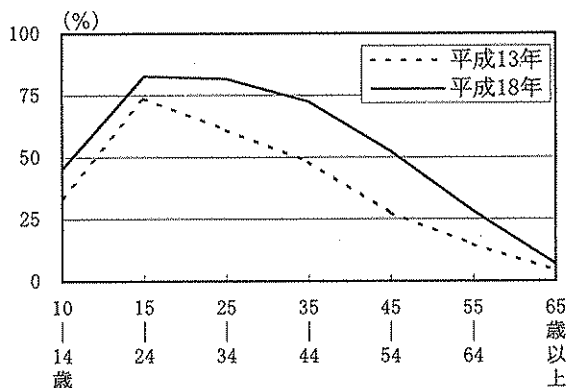
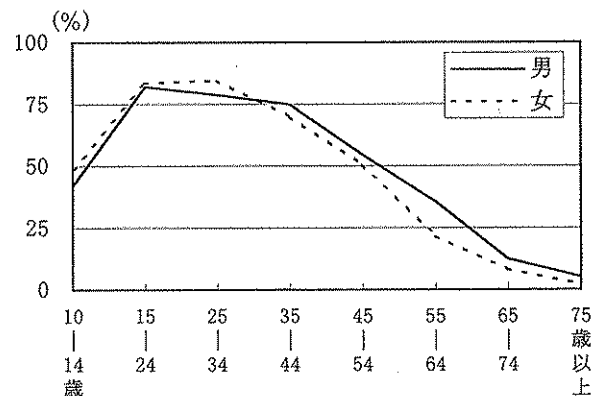


図1-2
男女、年齢階級別「インターネットの
利用」の行動者率



注：平成13年は仕事や学業での利用を含む。

- (2) 行動者率は「電子メール」が36.9%、「商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用」は15.5%

「インターネットの利用」の種類別に行動者率をみると、「電子メール」が36.9%と最も高く、次いで「情報検索及びニュース等の情報入手」が30.5%、「画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手」が21.5%、「商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用」が15.5%、「掲示板・チャット」が7.8%、「ホームページ、ブログの開設・更新」が3.5%となっている。

男女別にみると、「ホームページ、ブログの開設・更新」を除き、いずれも男性の方が高くなっている。これを年齢階級別にみると、「電子メール」は男女共に15歳以上45歳未満の年齢階級で、「情報検索及びニュース等の情報入手」は男性が15歳以上45歳未満の年齢階級で、女性が15歳以上35歳未満の年齢階級で5割を超える行動者率となっている。また、「商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用」は15歳以上35歳未満の年齢階級で女性の方が高くなっている。（図1-3、図1-4）

注：「インターネットの利用」には仕事や学業などで利用したものを除く。

図1-3 男女、「インターネットの利用」の種類別行動者率

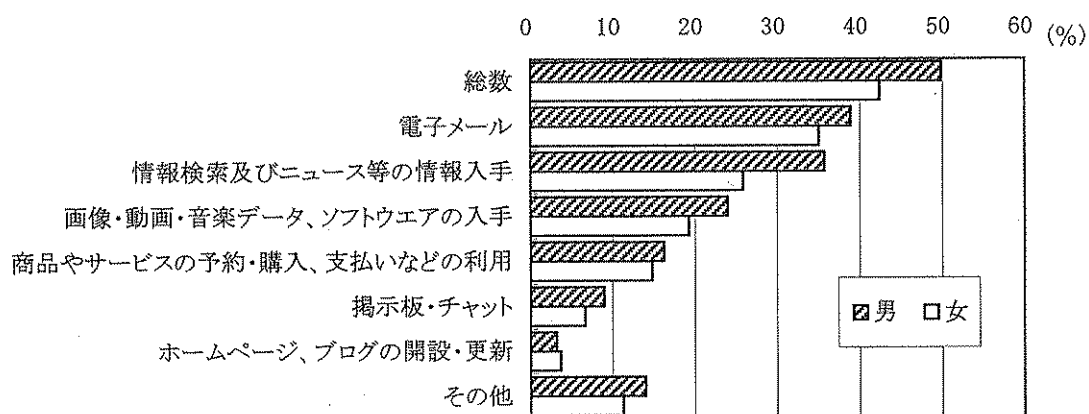
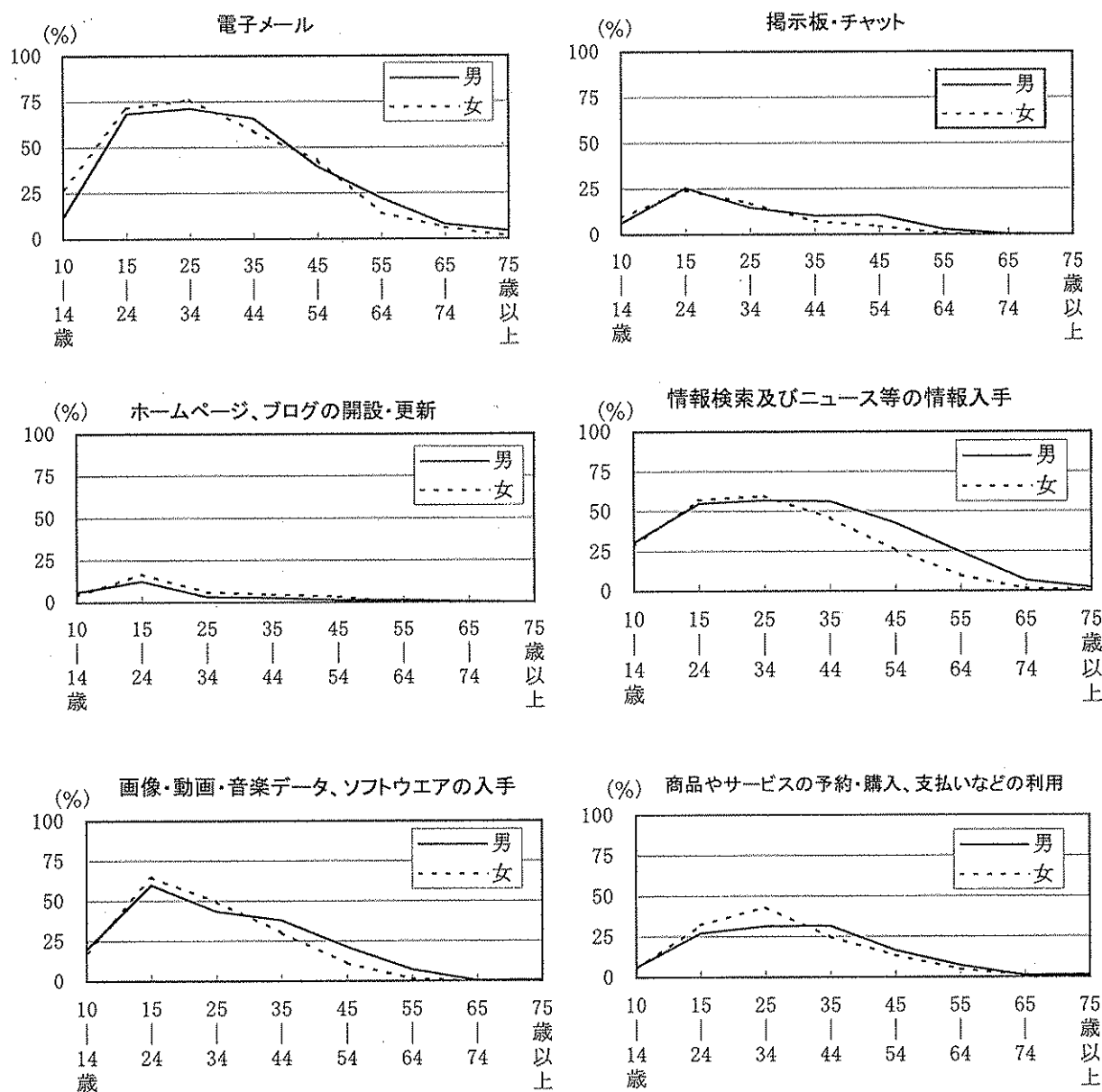


図1-4 「インターネットの利用」の種類、男女、年齢階級別行動者率



2 学習・研究

(1) 1年間に「学習・研究」を行った人は33万4千人、行動者率は27.3%

過去1年間に何らかの「学習・研究」を行った人は33万4千人で、行動者率は27.3%となっている。男女別にみると、男性が15万2千人、女性が18万1千人となっており、行動者率は男性が26.1%、女性が28.3%で、女性が男性より2.2ポイント高くなっている。

行動者率は平成13年に比べ0.9ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が0.3ポイント低下、女性が1.8ポイント上昇している。

行動者率を年齢階級別にみると、15～24歳が39.2%と最も高く、これより年齢が高くなるにつれて低下している。これを男女別にみると、45歳以上65歳未満の年齢階級及び75歳以上の年齢階級を除いて女性の方が高くなっている。（図2-1、図2-2）

図2-1 年齢階級別「学習・研究」の行動者率（平成13年、18年）

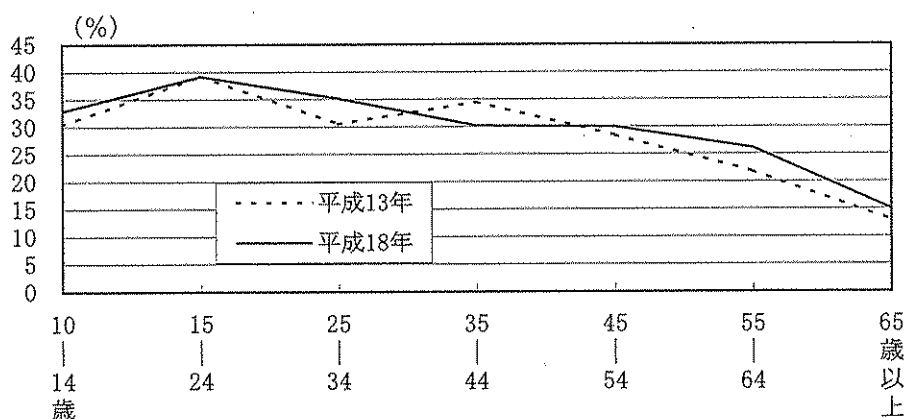
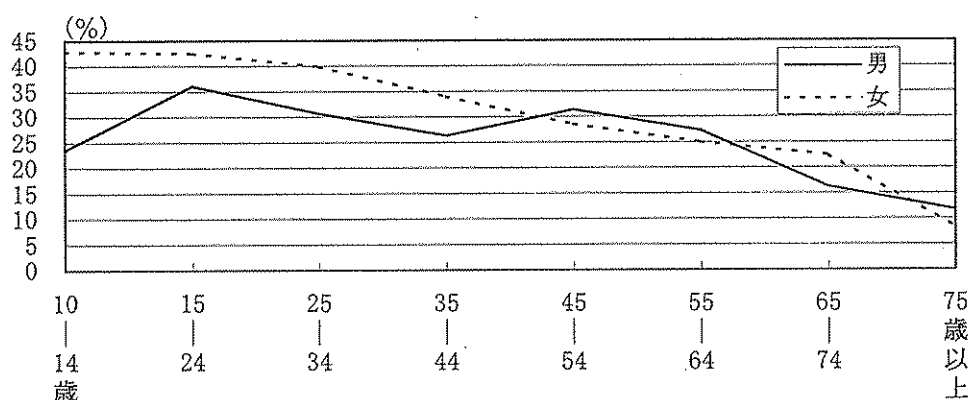


図2-2 男女、年齢階級別「学習・研究」の行動者率



注：「学習・研究」は、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

(2) 「パソコンなどの情報処理」は行動者率が低下

「学習・研究」の種類別行動者率をみると、「パソコンなどの情報処理」、「芸術・文化」が8.1%と最も高く、次いで「家政・家事」が7.1%などとなっている。これを男女別にみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が10.6%と最も高く、次いで「商業実務・ビジネス関係」が6.9%、「人文・社会・自然科学」が6.8%などとなっている。女性は「家政・家事」が11.2%と最も高く、次いで「芸術・文化」が9.4%、「英語」、「パソコンなどの情報処理」が5.9%などとなっている。

平成13年と比べると、「パソコンなどの情報処理」が4.0ポイント低下、「芸術・文化」が1.3ポイント上昇などとなっている。(図2-3、図2-4)

図2-3 男女、「学習・研究」の種類別行動者率

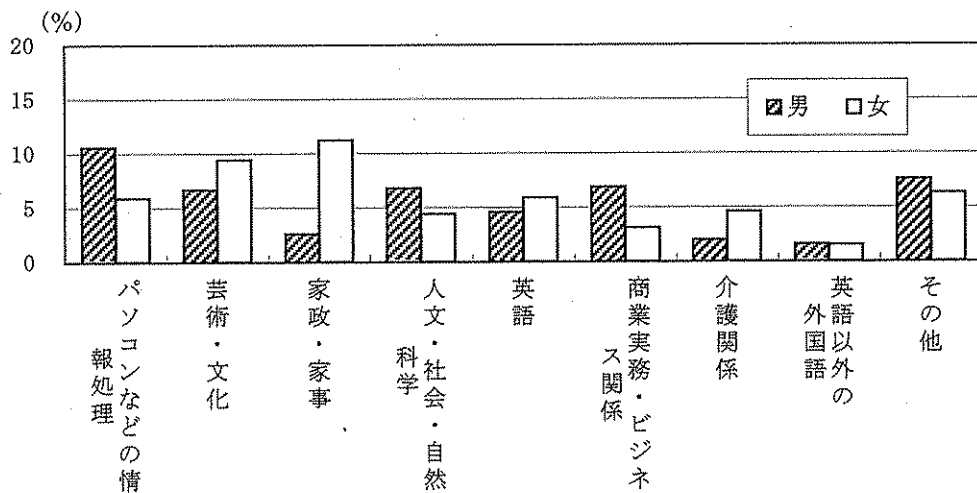
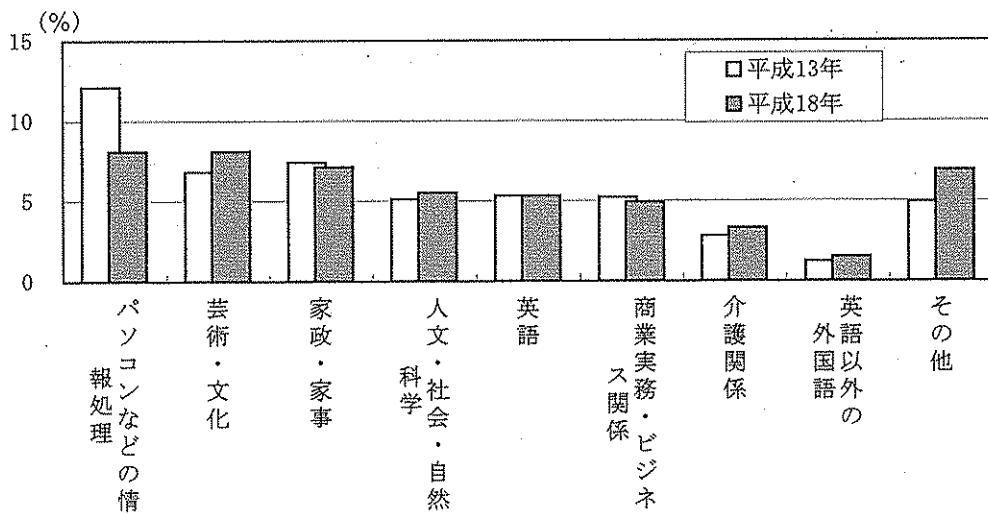


図2-4 「学習・研究」の種類別行動者率（平成13年、18年）



3 スポーツ

- (1) 1年間に「スポーツ」を行った人は71万2千人、行動者率は58.2%で5年前より6.0ポイント低下

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は71万2千人で、行動者率は58.2%となっている。男女別にみると、男性が37万3千人、女性が33万9千人となっており、行動者率は男性が64.0%、女性が53.0%で、男性が女性より11.0ポイント高くなっている。

行動者率は平成13年に比べ6.0ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が6.5ポイント低下、女性が5.4ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が94.7%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。これを男女別にみると、すべての年齢階級で男性の方が高くなっている。（図3-1、図3-2）

図3-1 年齢階級別「スポーツ」の行動者率（平成13年、18年）

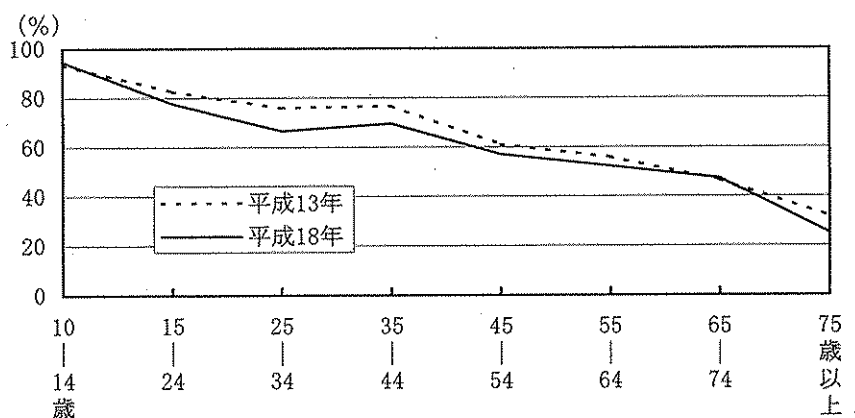
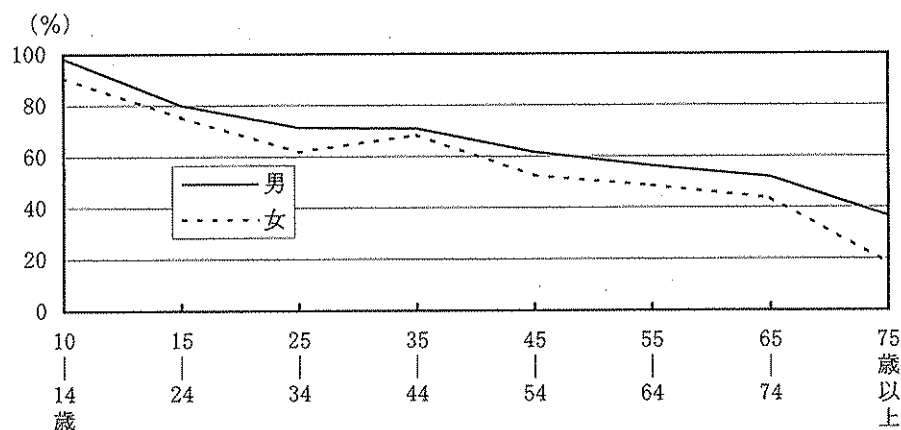


図3-2 男女、年齢階級別「スポーツ」の行動者率



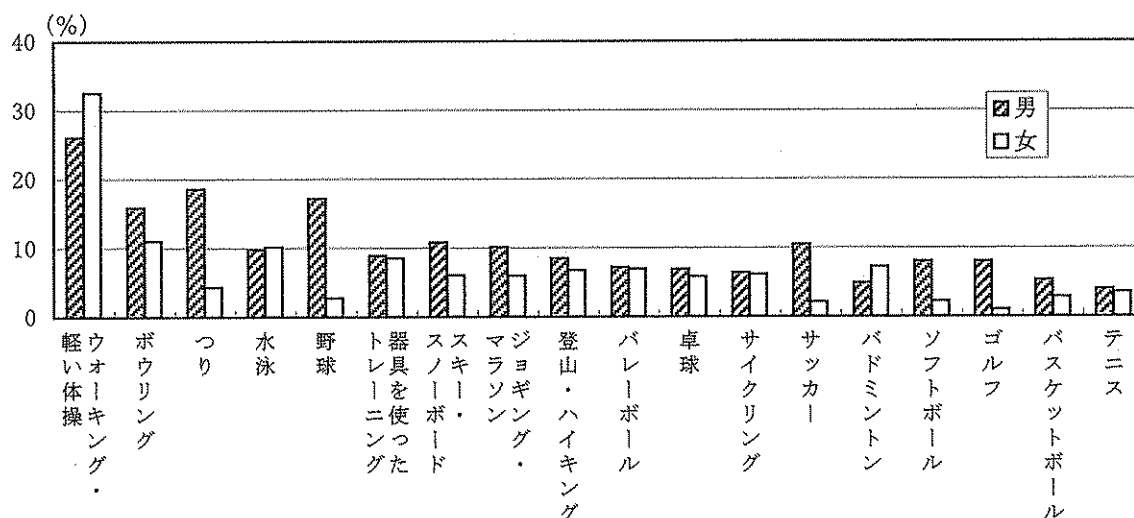
注：「スポーツ」には、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

(2) 行動者率は全体的に低下傾向

「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が29.4%と最も高く、次いで「ボウリング」が13.3%となっている。これを男女別にみると、男女共に「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで男性は「つり」、女性は「ボウリング」などとなっている。

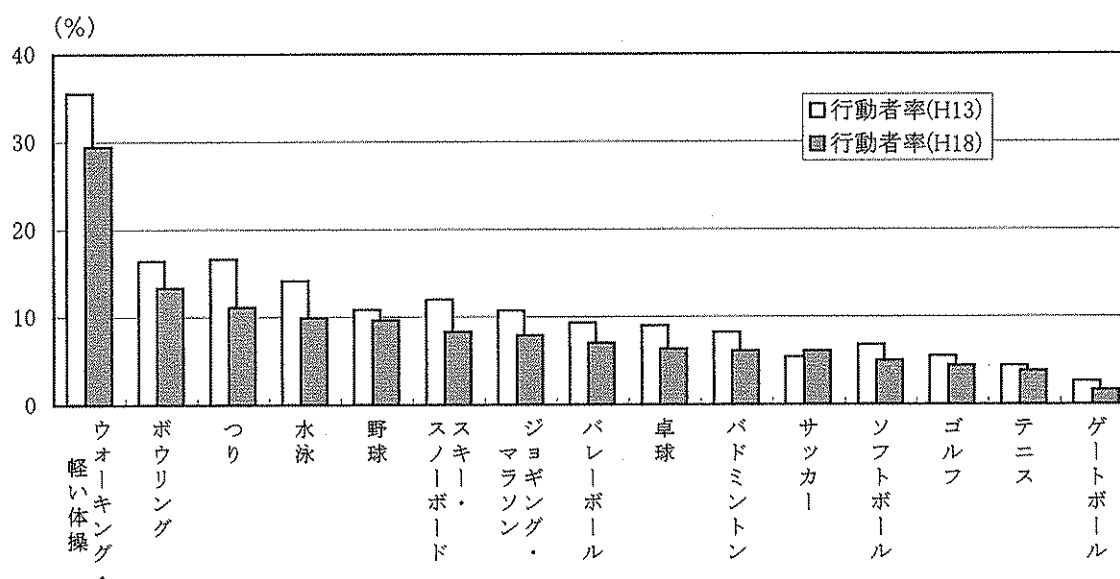
「スポーツ」の種類について、平成13年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が6.1ポイント低下、「つり」が5.5ポイント低下、「水泳」が4.2ポイント低下などとなっており、「サッカー」を除くすべての種類で行動者率は低下している。（図3-3、図3-4）

図3-3 男女、「スポーツ」の種類別行動者率



注：行動者率が3%以上の種類を表章。

図3-4 「スポーツ」の種類別行動者率（平成13年、18年）



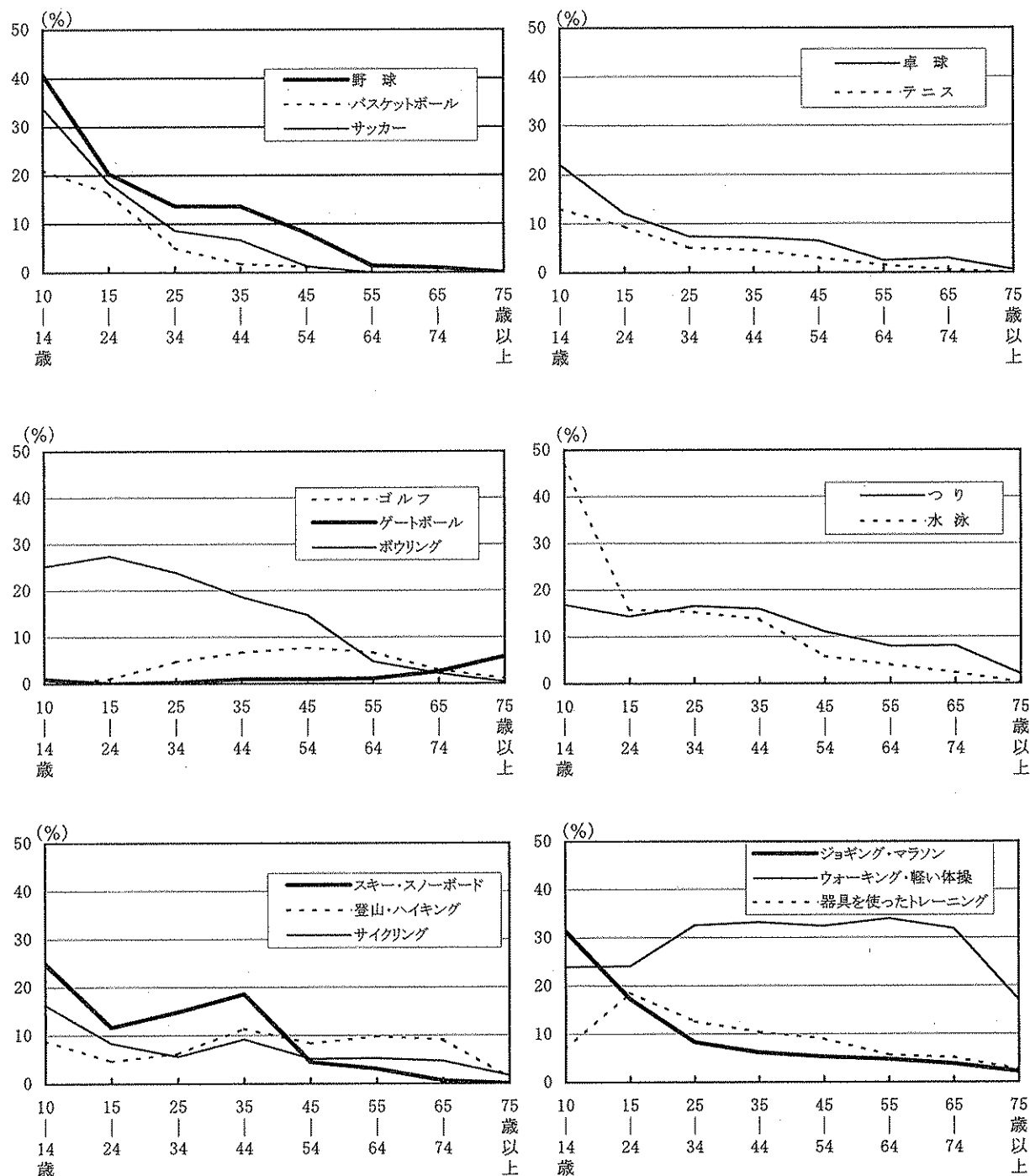
注：平成13年と比較可能な種類を表章。

「ウォーキング・軽い体操」の平成13年の調査項目名は「運動としての散歩・軽い体操」。

(3) 「水泳」は10～14歳、「ウォーキング・軽い体操」は55～64歳で行動者率が最も高い

主な「スポーツ」の種類別行動者率を年齢階級別にみると、「水泳」などは10～14歳、「ボウリング」は15～24歳、「登山・ハイキング」は35～44歳、「ゴルフ」は45～54歳、「ウォーキング・軽い体操」は55～64歳、「ゲートボール」は75歳以上で最も高くなっている。(図3-5)

図3-5 主な「スポーツ」の種類、年齢階級別行動者率



4 趣味・娯楽

(1) 1年間に「趣味・娯楽」を行った人は98万6千人、行動者率は80.6%

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は98万6千人で、行動者率は80.6%となっている。男女別にみると、男性が46万8千人、女性が51万8千人となっており、行動者率は男性が80.3%、女性が80.9%で、女性が男性より0.6ポイント高くなっている。

行動者率は平成13年に比べ3.1ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が2.7ポイント上昇、女性が3.5ポイント上昇している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が93.7%と最も高く、年齢が高くなるにつれて低下している。これを男女別にみると、45～54歳及び75歳以上を除いて女性の方が高くなっている。（図4-1、図4-2）

図4-1 年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率（平成13年、18年）

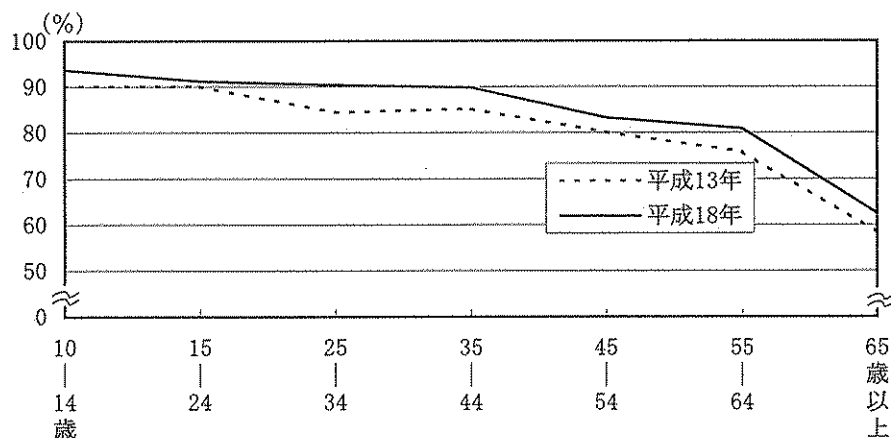
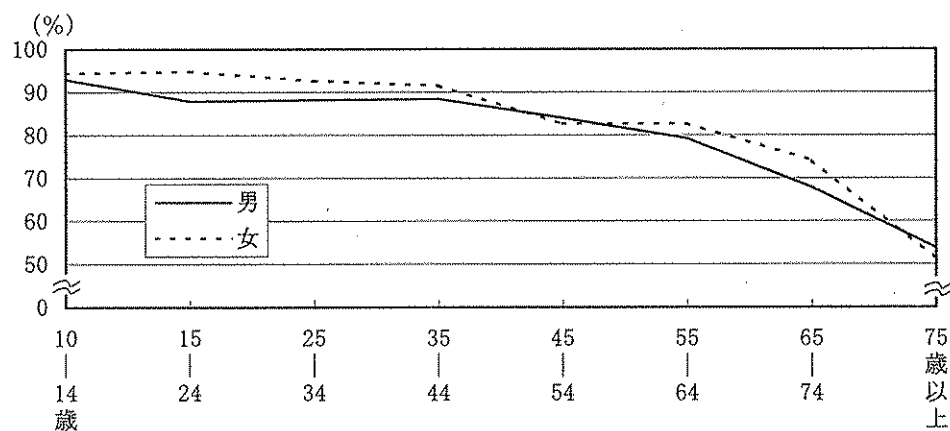


図4-2 男女、年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率



- (2) 「スポーツ観覧」、「テレビゲーム、パソコンゲーム」、「映画鑑賞」などは行動者率が上昇

「趣味・娯楽」の種類別に行動者率をみると、「CDなどによる音楽鑑賞」が44.4%と最も高く、次いで「DVDなどによる映画鑑賞」が38.2%、「趣味としての読書」が34.6%などとなっている。これを男女別にみると、男性は「CDなどによる音楽鑑賞」が43.6%と最も高く、次いで「DVDなどによる映画鑑賞」が39.1%、「テレビゲーム、パソコンゲーム」が34.9%などとなっている。女性は「CDなどによる音楽鑑賞」が45.2%と最も高く、次いで「趣味としての読書」が40.1%、「DVDなどによる映画鑑賞」が37.3%などとなっている。（図4-3）

「趣味・娯楽」の種類について、平成13年と比べると、「スポーツ観覧」が3.5ポイント上昇、「テレビゲーム、パソコンゲーム」が3.3ポイント上昇、「映画鑑賞」が1.9ポイント上昇などとなっている。一方、「カラオケ」が5.9ポイント低下、「和裁・洋裁」が3.3ポイント低下などとなっており、比較可能な19種類のうち14種類で行動者率が低下している。（図4-4）

図4-3 男女、「趣味・娯楽」の種類別行動者率

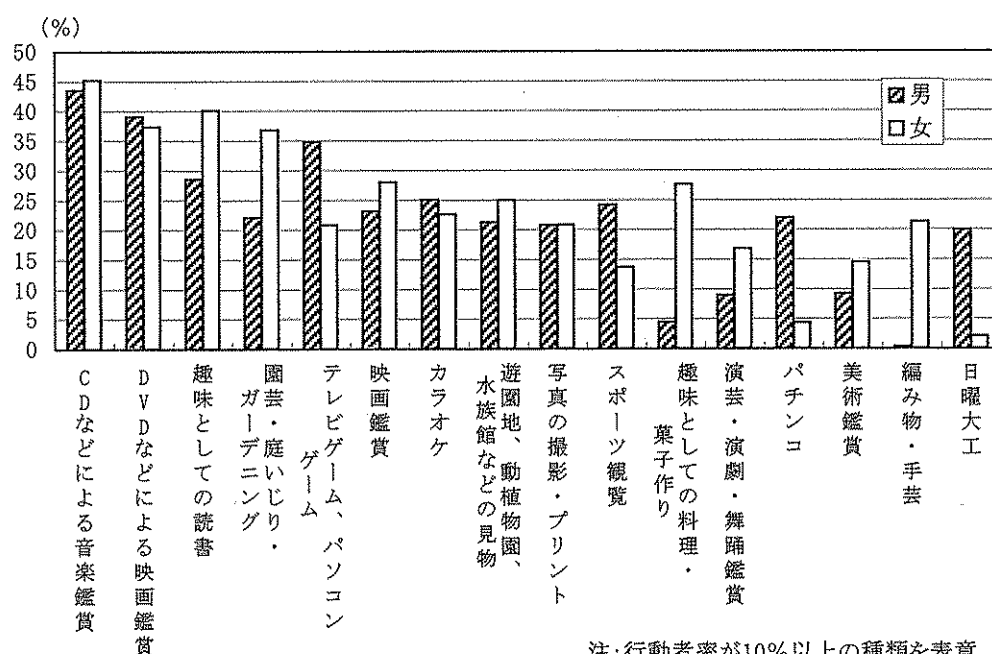
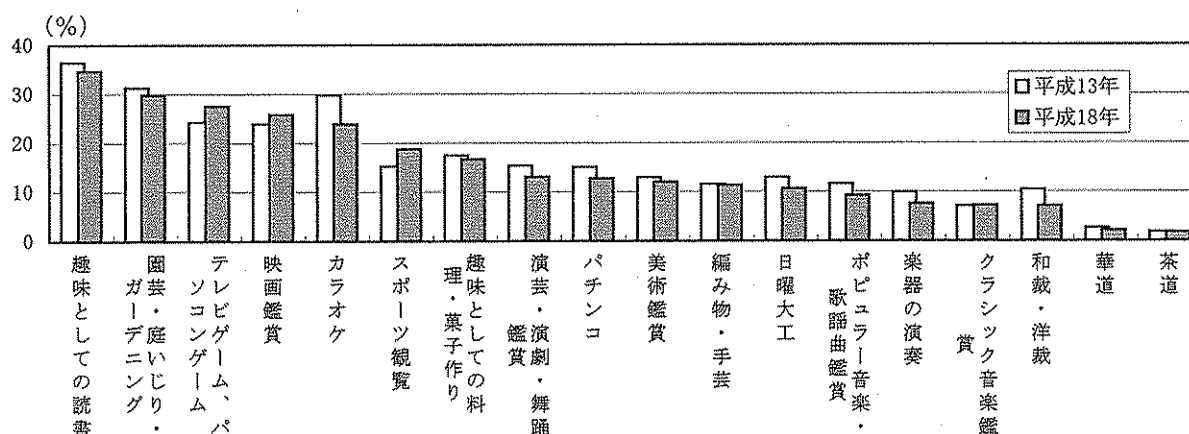


図4-4 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成13年、18年）



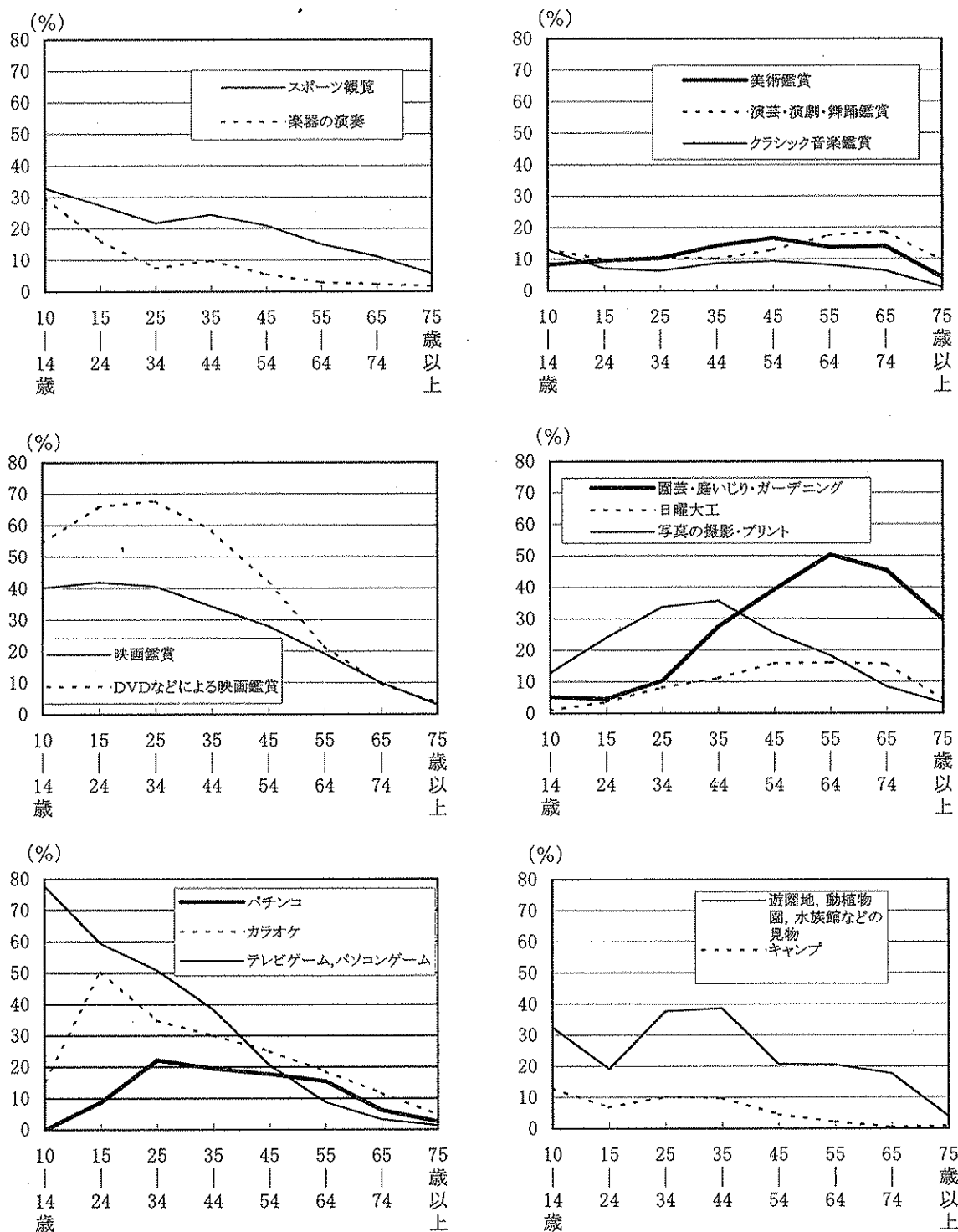
注：平成13年と比較可能な種類を表章。

「テレビゲーム、パソコンゲーム」の平成13年の調査項目名は「テレビゲーム」。

- (3) 「テレビゲーム、パソコンゲーム」などは10～14歳、「園芸・庭いじり・ガーデニング」などは55～64歳で行動者率が最も高い

主な「趣味・娯楽」の種類別行動者率を年齢階級別にみると、「テレビゲーム、パソコンゲーム」は10～14歳、「カラオケ」は15～24歳、「DVDなどによる映画鑑賞」は25～34歳、「園芸・庭いじり・ガーデニング」は55～64歳で最も高くなっている。（図4-5）

図4-5 主な「趣味・娯楽」の種類、年齢階級別行動者率



5 ボランティア活動

- (1) 1年間に「ボランティア活動」を行った人は39万9千人、行動者率は32.7%で5年前より0.1ポイント低下

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は39万9千人で、行動者率は32.7%となっている。男女別にみると、男性が19万4千人、女性が20万5千人となっており、行動者率は男性が33.3%、女性が32.1%で、男性が女性より1.2ポイント高くなっている。

行動者率は平成13年に比べ0.1ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が2.1ポイント上昇、女性が2.1ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が47.5%と最も高く、25～34歳が25.0%と最も低くなっている。これを男女別にみると、45歳以上では男性の方が高くなっている。（図5-1、図5-2）

図5-1 年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率（平成13年、18年）

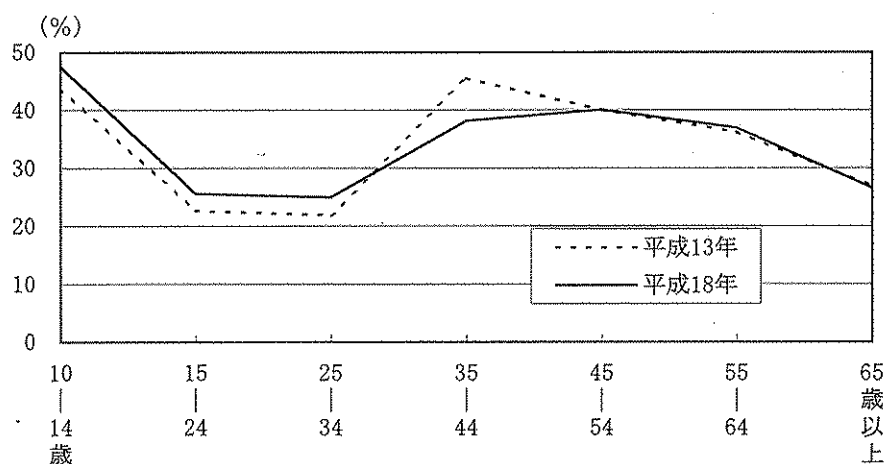
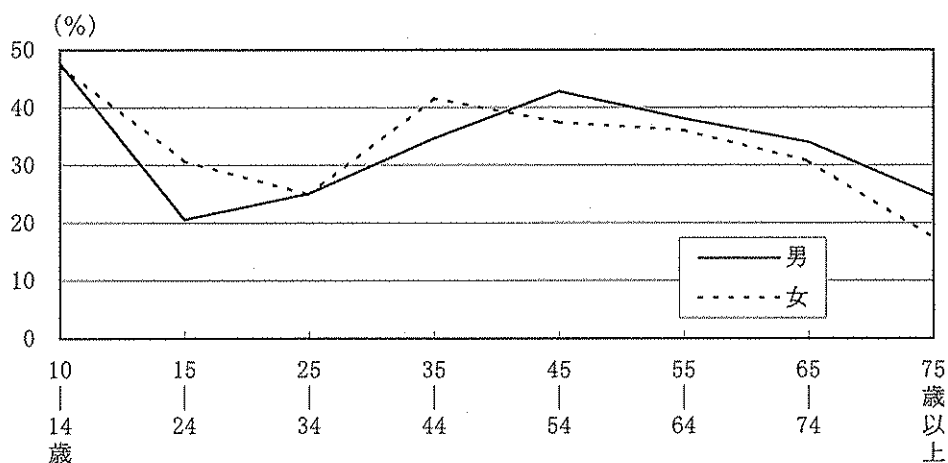


図5-2 男女、年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率



(2) 種類別行動者率は8活動のうち5活動で低下
男女共に「まちづくりのための活動」が最も高い行動者率

「ボランティア活動」の種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が18.0%と最も高く、次いで「自然や環境を守るための活動」が9.8%、「安全な生活のための活動」が7.5%などとなっている。これを男女別にみると、男女共に「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで「自然や環境を守るための活動」、男性は「安全な生活のための活動」、女性は「子供を対象とした活動」などとなっている。

「ボランティア活動」の種類について、平成13年と比べると、「安全な生活のための活動」、「子供を対象とした活動」、「障害者を対象とした活動」が上昇している。(図5-3、図5-4)

図5-3 男女、「ボランティア活動」の種類別行動者率

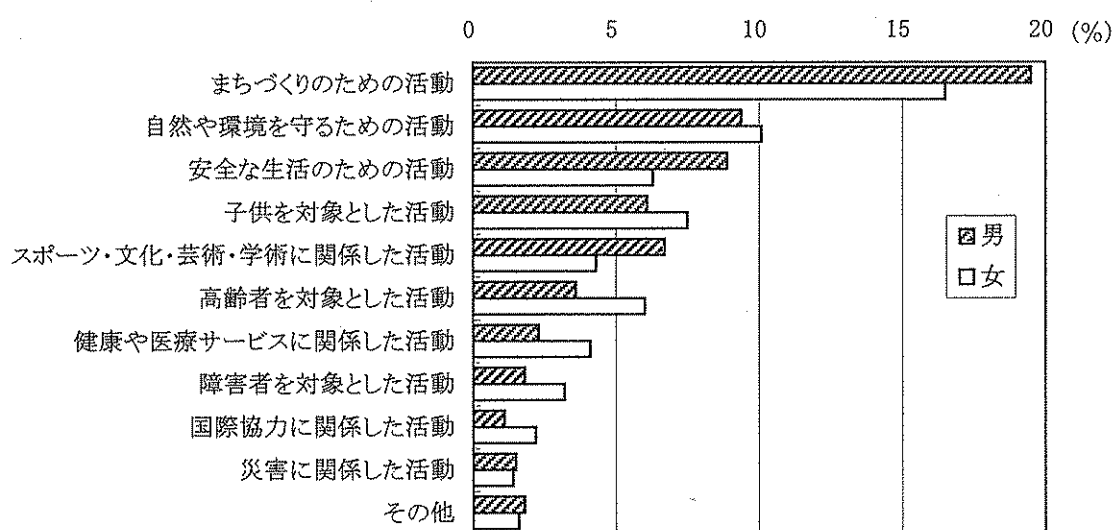
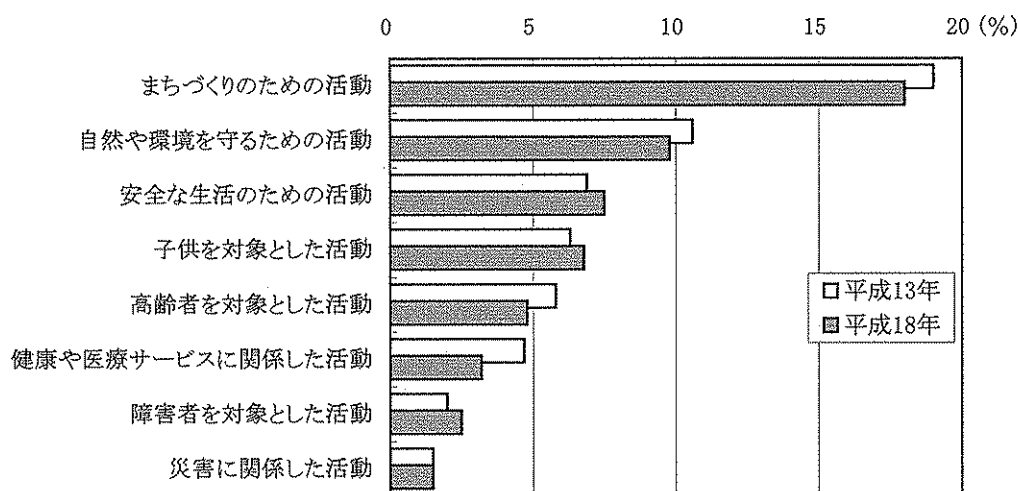


図5-4 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成13年、18年）



注：平成13年と比較可能な種類を表章。

6 旅行・行楽

- (1) 1年間に「旅行・行楽」を行った人は84万8千人、行動者率は69.3%で5年前より1.5ポイント低下

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は84万8千人で、行動者率は69.3%となっている。男女別にみると、男性が38万7千人、女性が46万1千人となっており、行動者率は男性が66.3%、女性が72.0%で、女性が男性より5.7ポイント高くなっている。

行動者率は平成13年に比べ1.5ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が3.1ポイント低下、女性が0.1ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が79.7%と最も高く、45歳以上は年齢が高くなるにつれて低下している。これを男女別にみると、すべての年齢階級で女性の方が高くなっている。（図6-1、図6-2）

図6-1 年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率（平成13年、18年）

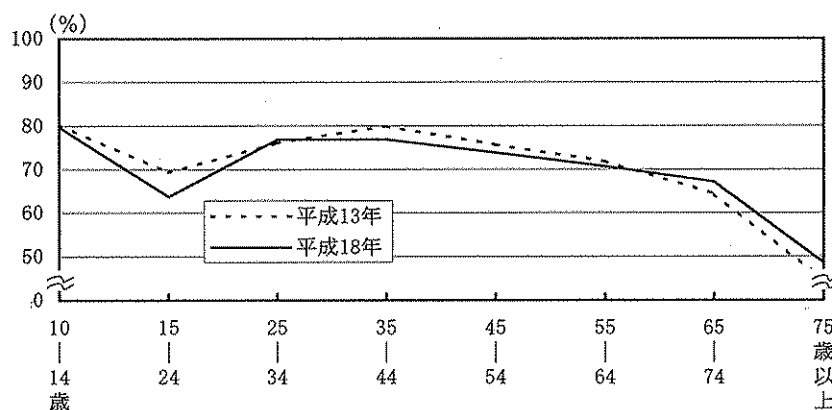
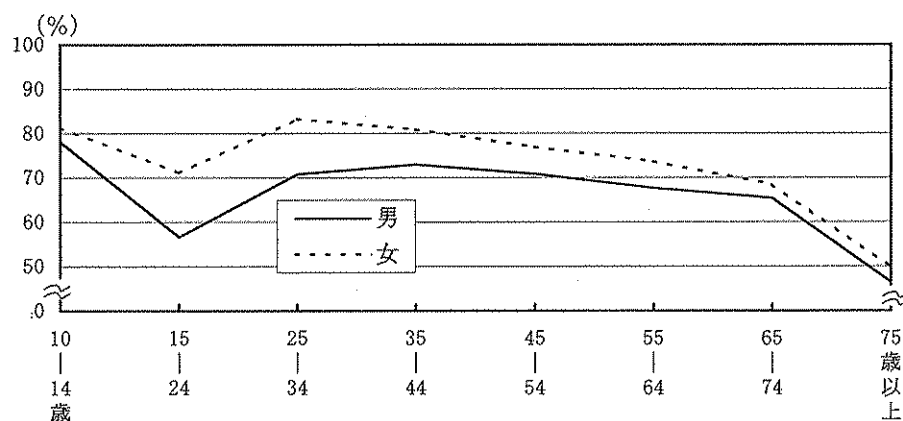


図6-2 男女、年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率



(2) 行動者率は「観光旅行（国内）」が38.2%、「観光旅行（海外）」は3.3%

「旅行・行楽」の種類別に行動者率をみると、「行楽（日帰り）」が57.4%、観光旅行では国内が38.2%、海外が3.3%となっている。これを男女別にみると、国内及び海外の「業務出張・研修・その他」を除き、すべての種類で女性の方が高くなっている。

平成13年と比べると、「帰省・訪問などの旅行（国内）」が3.2ポイント上昇したほかは、行動者率はおおむね低下している。（図6-3、図6-4）

図6-3 男女、「旅行・行楽」の種類別行動者率

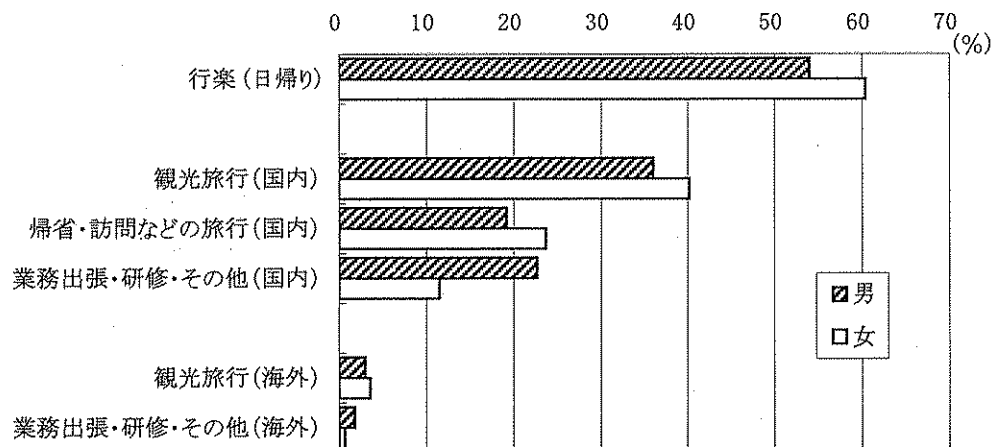
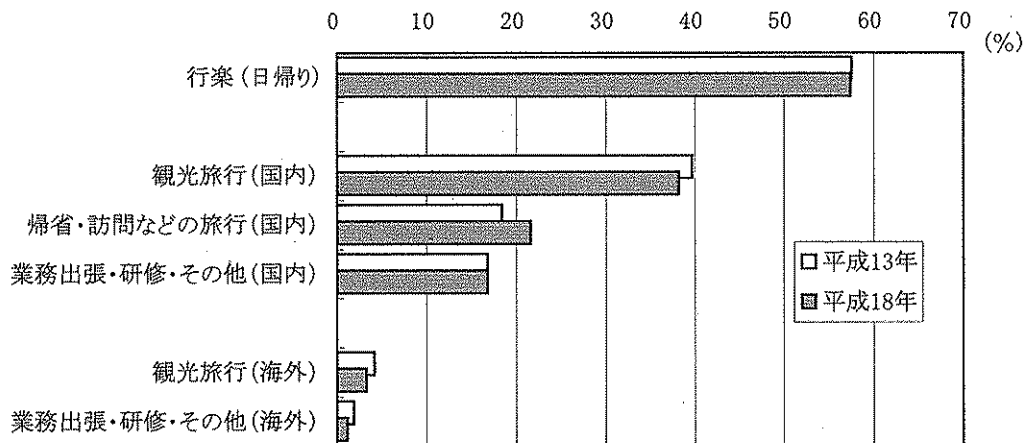


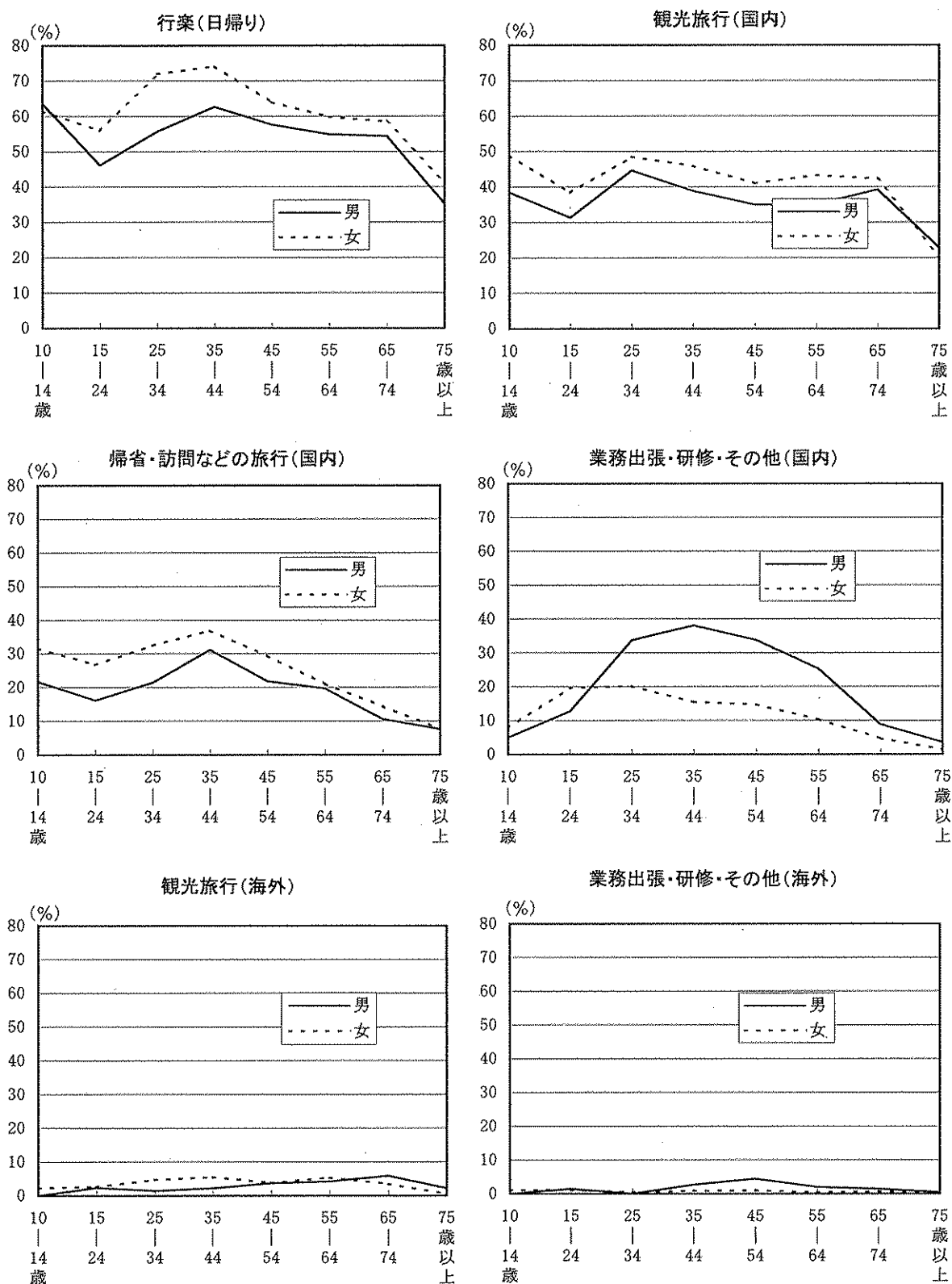
図6-4 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成13年、18年）



(3) 「観光旅行（海外）」の行動者率は、男性は65～74歳、女性は35～44歳が最も高い

「旅行・行楽」の種類別の行動者率を男女別にみると、「観光旅行（国内）」については、男性は25～34歳が最も高く、次いで65～74歳などとなっており、女性は10～14歳が最も高く、次いで25～34歳などとなっている。「観光旅行（海外）」については、男性は65～74歳が最も高く、女性は35～44歳が最も高くなっている。（図6－5）

図6－5 「旅行・行楽」の種類、男女、年齢階級別行動者率

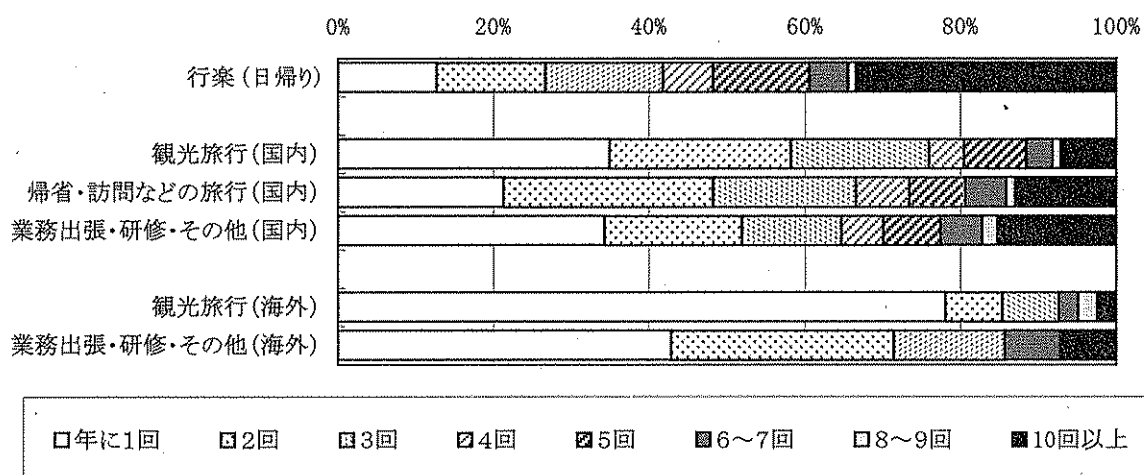


(4) 「行楽（日帰り）」は「年に10回以上」が最も多い

「旅行・行楽」の種類別に行動者の頻度別構成比をみると、「行楽（日帰り）」は「年に10回以上」、「帰省・訪問などの旅行（国内）」は「年に2回」が最も多く、ほかは「年に1回」が最も多くなっている。

（図6－6）

図6－6 「旅行・行楽」の種類、頻度別行動者構成比



(資料) 平成18年社会生活基本調査結果(全国)

(単位: %)

インターネット			学習・研究			スポーツ			趣味・娯楽			ボランティア活動			旅行・行楽		
順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率
1	東京都	70.8	1	東京都	43.8	1	神奈川県	71.8	1	神奈川県	89.3	1	鳥取県	34.5	1	神奈川県	82.1
2	神奈川県	70.7	2	神奈川県	43.4	2	埼玉県	69.5	2	東京都	88.5	2	滋賀県	34.0	2	滋賀県	81.8
3	埼玉県	64.6	3	奈良県	40.9	3	滋賀県	69.1	3	千葉県	87.5	2	島根県	34.0	3	東京都	81.7
3	千葉県	64.6	4	千葉県	40.1	4	東京都	69.0	4	滋賀県	87.4	4	福井県	33.6	3	愛知県	81.7
5	京都府	63.1	5	滋賀県	37.8	5	千葉県	68.4	5	埼玉県	87.3	5	鹿児島県	33.2	5	埼玉県	80.7
6	大阪府	63.0	6	埼玉県	37.7	6	京都府	68.1	6	愛知県	87.1	6	石川県	33.0	6	長野県	79.2
7	滋賀県	62.8	7	京都府	37.5	7	長野県	67.2	7	奈良県	87.0	6	佐賀県	33.0	7	千葉県	78.9
8	愛知県	62.4	8	兵庫県	36.6	7	愛知県	67.2	8	京都府	86.4	8	岩手県	32.7	8	奈良県	78.4
9	奈良県	62.2	9	大阪府	36.0	9	奈良県	66.9	9	石川県	85.7	9	長野県	32.0	9	福井県	78.1
10	兵庫県	60.4	10	岡山県	35.6	10	宮崎県	66.5	9	大阪府	85.7	9	岐阜県	32.0	10	富山県	77.7
11	三重県	59.7		全 国	35.2	10	鹿児島県	66.5	9	広島県	85.7	11	熊本県	31.9	11	岐阜県	77.5
	全 国	59.4	11	山梨県	34.7	12	群馬県	65.5	12	兵庫県	85.6	12	富山県	31.5	12	石川県	77.3
12	岐阜県	58.2	12	長野県	34.1	13	栃木県	65.4		全 国	84.9	13	山形県	31.2	13	京都府	77.1
13	岡山県	57.9	13	静岡県	33.9	13	石川県	65.4	13	北海道	84.8	14	宮崎県	31.0	14	大阪府	76.4
14	石川県	57.5	14	茨城県	33.8	13	熊本県	65.4	13	宮城県	84.8	15	静岡県	30.9		全 国	76.2
15	福岡県	57.3	14	福岡県	33.8		全 国	65.3	15	群馬県	84.7	16	岡山県	30.7	15	栃木県	76.1
16	静岡県	56.8	16	石川県	33.6	16	茨城県	65.1	16	福井県	84.3	17	群馬県	30.3	16	群馬県	75.8
16	広島県	56.8	16	愛知県	33.6	17	山梨県	64.9	16	福岡県	84.3	18	宮城県	30.2	16	兵庫県	75.8
18	茨城県	56.4	18	広島県	33.5	18	沖縄県	64.7	18	岐阜県	84.2	18	福島県	30.2	18	宮城県	75.7
19	宮城県	55.7	19	福井県	33.1	19	兵庫県	64.6	18	静岡県	84.2	18	山梨県	30.2	18	静岡県	75.7
19	群馬県	55.7	20	宮城県	32.6	19	広島県	64.6	20	栃木県	83.9	18	大分県	30.2	20	岡山県	75.5
19	福井県	55.7	21	山口県	32.5	21	静岡県	64.4	21	長野県	83.8	22	山口県	29.9	21	山梨県	75.2
22	長野県	55.3	22	北海道	32.4	22	大阪府	64.2	22	山口県	83.7	23	愛媛県	28.5	22	三重県	75.0
23	富山県	55.2	23	群馬県	32.2	23	愛媛県	64.0	23	山梨県	83.4	24	長崎県	27.6	23	福岡県	74.9
24	山梨県	54.9	24	三重県	31.9	24	宮城県	63.9	24	岡山県	83.0	25	奈良県	27.4	24	茨城県	74.4
25	栃木県	54.8	25	栃木県	31.7	25	福岡県	63.7	25	富山県	82.8	26	徳島県	26.8	24	新潟県	74.4
26	北海道	54.5	25	岐阜県	31.7	26	鳥取県	63.6	25	鳥取県	82.8	27	茨城県	26.7	26	北海道	74.1
27	徳島県	54.3	27	鹿児島県	31.6	27	北海道	63.4	27	鹿児島県	82.6	27	広島県	26.7	27	広島県	72.9
28	山口県	53.8	28	香川県	31.5	28	岐阜県	63.2	28	茨城県	82.1	29	秋田県	26.5	28	鳥取県	72.3
29	香川県	53.3	29	愛媛県	31.4	28	岡山県	63.2	28	香川県	82.1	29	兵庫県	26.5	29	山口県	72.1
30	愛媛県	53.1	30	徳島県	31.1	30	福井県	63.0	30	三重県	82.0	31	福岡県	26.4	30	香川県	71.8
31	鳥取県	52.0	30	熊本県	31.1	31	山口県	62.1	31	宮崎県	81.9	32	香川県	26.3	31	宮崎県	71.3
32	熊本県	51.6	32	鳥取県	31.0	31	香川県	62.1	32	和歌山県	81.4		全 国	26.2	32	大分県	71.2
33	和歌山県	51.3	33	富山県	30.1	31	大分県	62.1	33	愛媛県	81.3	33	和歌山県	25.2	33	熊本県	71.1
34	新潟県	50.2	34	佐賀県	29.7	34	徳島県	61.9	34	佐賀県	81.0	34	栃木県	25.1	34	福島県	71.0
35	大分県	49.7	35	島根県	29.3	35	島根県	61.8	34	大分県	81.0	35	神奈川県	24.9	35	山形県	70.8
36	宮崎県	49.2	35	宮崎県	29.3	36	佐賀県	61.2	36	熊本県	80.8	35	新潟県	24.9	36	佐賀県	70.3
37	佐賀県	48.5	35	沖縄県	29.3	37	三重県	61.0	37	徳島県	80.7	37	三重県	24.7	37	鹿児島県	70.0
37	沖縄県	48.5	38	大分県	28.9	38	富山県	60.3	38	岩手県	80.6	38	高知県	24.3	38	徳島県	69.9
39	島根県	48.4	39	長崎県	28.6	39	新潟県	59.6	39	新潟県	80.5	39	埼玉県	24.1	39	和歌山県	69.8
40	長崎県	48.3	40	和歌山県	28.0	39	長崎県	59.6	40	島根県	79.7	39	千葉県	24.1	40	秋田県	69.5
41	福島県	47.6	41	高知県	27.9	41	和歌山県	59.3	40	長崎県	79.7	41	愛知県	24.0		岩手県	69.3
42	鹿児島県	47.2	42	岩手県	27.3	42	岩手県	58.2	42	山形県	78.7	42	京都府	23.4	42	島根県	68.6
43	高知県	46.1	43	福島県	27.0	43	山形県	57.6	43	秋田県	78.6	43	北海道	23.2	43	愛媛県	67.1
	岩手県	45.9	44	山形県	26.4	43	福島県	57.6	44	高知県	78.4	43	青森県	23.2	44	長崎県	65.1
45	山形県	45.7	45	新潟県	26.2	43	高知県	57.6	44	沖縄県	78.4	45	東京都	22.6	45	青森県	64.3
46	秋田県	45.4	46	秋田県	25.4	46	秋田県	56.4	46	福島県	78.3	46	大阪府	20.6	46	高知県	61.1
47	青森県	44.4	47	青森県	24.0	47	青森県	53.9	47	青森県	76.0	47	沖縄県	19.7	47	沖縄県	53.2

[問い合わせ先] 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
 岩手県総合政策室調査統計課 生活統計担当
 TEL 019-629-5296 FAX 019-629-5309
 E-mail AA0003@pref.iwate.jp
 http://www.pref.iwate.jp/~stat/